

## 令和6年度第4回別府市人権教育学級

日 時：令和6年 9月12日(木) 10:00~11:50

場 所：別府市中央公民館 講座室

テーマ：さまざまな人権(ヘアロス)

演 題：「知ろう 考えよう ヘアロスの現状

～100人に1人 必ずあなたの周りにもいます～」

講 師：NPO法人Alopecia Style Project Japan

松岡 千尋 氏 亀井 祥子 氏 合澤 真弓 氏

NPO法人Alopecia Style Project Japan (アロペシアスタイルプロジェクトジャパン)について  
アロペシアスタイルプロジェクトジャパンとは、脱毛症、抜毛症、乏毛症、無毛症、治療による副作用など、  
様々な理由により髪に症状を持つ方々のコミュニティです。当事者に「一人じゃないよ」と感じてもらえるよう  
な機会を提供していくとともに、一人ひとりが理解・尊重し合える社会をめざして活動しています。

### 【講演内容】

- |           |                        |            |
|-----------|------------------------|------------|
| ステップ1 知る  | ・ヘアロス症状の種類と特徴的な困難      | ・向き合い方と心構え |
| ステップ2 支える | ・身近な当事者に今すぐできる支援とは     |            |
| ステップ3 繋がる | ・5年後、10年後を見据えた支援と繋がり   |            |
| ステップ4 まとめ | ・将来、身体的なイジリが常識外れになるために |            |

### 【講演の様子】



< 講師の皆さん >



< 講演の様子 >



< グループワークの様子 >

### 【参加者感想】

- 身体的特徴をいじるような現代社会が変わっていくよう、小さなことですが、今日学んだことをまず子どもや身近な人に伝えていきたいと思いました。
- 当事者の方が、ご自分の実体験をお話してくださったので、心に刺さりました。事象に対しての自分の誤った知識が差別をまねくと思いました。
- ヘアロスについて、深く学ぶことができました。社会の受容・変容=私たちの意識を変える、必要性を感じました。ヘアロスから、社会のあり方のおかしさ(身体のイジリ、見た目の評価)に気づかされました。
- ヘアロス当事者の方の悩みや生きづらさを考えたことがなかったので、気づきがたくさんありました。ワークショップでは、実際に自分だったらどうするかと考える場となって良かったです。知らないこと、無意識での差別はとても怖いことだし、誰かを傷つけてしまうことになることを学びました。